

広島県環境審議会第 48 回生活環境部会・第 41 回自然環境部会合同部会議事録

- 1 日 時 令和 8 年 8 月 3 日（月）午後 2 時から午後 2 時 35 分まで
- 2 場 所 Zoom による Web 会議
- 3 出席委員 崎田生活環境部会長、青山委員、天野委員、大内委員、橋本委員、百武委員、藤中委員、松本委員（代理出席：廿日市市 藤重環境共生課長）、箕野委員（代理出席：北広島町 出廣環境生活課長）、吉田委員
久我自然環境部会長、石原委員、沖野委員、高杉委員、内藤委員、南委員
- 4 議 事 (1) 第 6 次広島県環境基本計画の素案について
(2) 今後のスケジュールについて
- 5 担当部署 広島県環境県民局環境政策課環境企画グループ
電話：(082) 513-2911（ダイヤルイン）

6 会議の内容（議事要旨）

- (1) 第 6 次広島県環境基本計画の素案について
事務局から資料 1 により説明。
- (2) 今後のスケジュールについて
事務局から資料 3 により説明。

【質疑応答】

（橋本委員）

- 資料 2 の 52 ページ、「有機フッ素化合物（PFAS）等の指針値超過事案に対応します。」とありますが、今、問題となっている分野ですので、もう少し踏み込んだ記載ができればと思います。
（環境保全課長）
- 有機フッ素化合物につきましては、まずは暴露防止の観点から、生活衛生関係部署と連携して対応しています。また、現在は、県内の何地点かで河川調査を実施していますが、数年かけて県内の全環境基準点を調査できるよう、検討しているところです。
委員の意見を参考にさせていただきます。

（大内委員）

- 今年の夏は、猛暑が続いていますが、県として何か対策は考えているか。

(環境政策課長)

- 気温が上がらない対策というところで、温暖化対策をさせていただいています。また、暑くなったことに対して適応していくという適応策の部分につきまして、環境部局では、特別警戒アラートが発令された場合、自宅にクーラーがない方が避難できる場所としてクーリングシェルターの指定を進めています。

その他、農林水産分野において、気候に対応した品種や養殖方法の研究を進めています。

(崎田生活環境部会長)

- 資料1の4ページ、循環型社会の実現の主な取組に記載されているトレーサビリティ強化とは、国が推進している自動車業界でのプラスチックリサイクル材を20%入れていこうというトレーサビリティか、それとも電子マニフェストのことを指しているのか。

(産業廃棄物対策課長)

- 電子マニフェストのことを示しており、普及に取り組んでまいります。

7 会議の資料名一覧

資料1 「第6次広島県環境基本計画」(素案)の概要

資料2 第6次広島県環境基本計画素案

資料3 今後のスケジュールについて

参考資料 広島県環境審議会における主な委員意見への対応

8 傍聴者

1名